

プログラム

講演会場（伊藤謝恩ホール） 8：25～8：30

開会の辞

【代表世話人】工藤 正俊（近畿大学医学部 消化器内科学）

【当番世話人】小池 和彦（東京大学医学部 消化器内科）

講演会場（伊藤謝恩ホール） 8：30～9：30

プレナリーセッション 1

【司 会】工藤 正俊（近畿大学消化器内科学）

國土 典宏（NCGM 国立国際医療研究センター）

PL-01 肝予備能良好な BCLC-B 肝細胞癌に対する TACE 予後予測・腫瘍マーカースコアの有用性：肝癌研究会データベース解析

¹愛媛県立中央病院 消化器病センター内科、²大垣市民病院 消化器内科、³武蔵野赤十字病院 消化器科、
⁴信州大学医学部 画像医学教室、⁵国立国際医療研究センター、⁶大阪市立大学大学院 肝胆膵外科学、
⁷東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻生物統計学、⁸久留米大学医学部 病理学教室、
⁹慶応義塾大学医学部 病理学教室、¹⁰日本大学医学部 消化器外科、
¹¹東京大学医学部 肝胆膵外科・人工臓器移植外科、
¹²東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻疫学・予防保健学分野、
¹³長崎大学医学部 消化器外科、¹⁴金沢大学医学部 先進予防医学研究センター、
¹⁵近畿大学医学部 消化器内科、¹⁶日本肝癌研究会

○平岡 淳¹、道堯 浩二郎¹、熊田 卓^{2,16}、泉 並木^{3,16}、角谷 眞澄^{4,16}、國土 典宏^{5,16}、
久保 正二^{6,16}、松山 裕^{7,16}、中島 収^{8,16}、坂元 亨宇^{9,16}、高山 忠利^{10,16}、國土 貴嗣^{11,16}、
柏原 康佑^{12,16}、江口 晋^{13,16}、山下 達也^{14,16}、工藤 正俊^{15,16}

PL-02 ソラフェニブ投与例における ALBI grade と Child-Pugh 分類の比較—多施設共同研究—

¹大垣市民病院 消化器内科、²愛媛県立中央病院 消化器病センター、³愛媛大学 第三内科、
⁴松山赤十字 消化器内科、⁵おたかの森病院 消化器内科、⁶香川労災病院 消化器内科、
⁷富山大学 消化器内科、⁸済生会新潟第二病院 消化器内科、⁹手稲溪仁会病院 消化器病センター

○多田 俊史¹、熊田 卓¹、豊田 秀徳¹、平岡 淳²、小泉 洋平³、廣岡 昌史³、日浅 陽一³、
越智 裕紀⁴、上甲 康二⁴、島田 紀朋⁵、出口 章広⁶、田尻 和人⁷、石川 達⁸、今井 径卓⁸、
辻 邦彦⁹

PL-03 レゴラフェニブの適格性からみたソラフェニブ後治療経過の検討

金沢大学附属病院

○高田 昇、寺島 健志、荒井 邦明、山下 竜也、金子 周一

PL-04 Lenvatinib による肝細胞癌治療の初期報告

¹帝京大学ちば総合医療センター 内科、²佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器・肝臓内科、
³山梨県立中央病院 消化器内科

○小尾 俊太郎^{1,2,3}、佐藤 隆久¹、矢原 良子¹、佐藤 新平²、河井 敏宏²、近藤 祐嗣²、
菅田 美保²、望月 仁³、小嶋 裕一郎³、鈴木 洋司³、細田 健司³、三浦 優子³、芦沢 浩³、
中込 圭子³、天野 博之³、小俣 政男³

PL-05 切除不能な肝細胞癌患者を対象としたレンバチニブとソラフェニブを比較する第3相試験 (REFLECT) における日本人部分集団解析結果

¹ 金沢大学先進予防医学研究センター、² 近畿大学医学部 消化器内科学、³ 虎の門病院 肝臓内科、

⁴ 武蔵野赤十字病院、⁵ 国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科、

⁶ 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科、⁷ エーザイ株式会社、⁸ 周南記念病院、⁹ 虎の門病院

○山下 竜也¹、工藤 正俊²、池田 健次³、泉 並木⁴、池田 公史⁵、奥坂 拓志⁶、玉井 俊行⁷、北村 智史⁷、齋藤 健一⁷、沖田 極⁸、熊田 博光⁹

PL-06 肝癌根治治療後 DAA 治療後の進行再発例に関する検討

東京大学医学部附属病院 消化器内科

○木下 瑞希、南 達也、建石 良介、和気 泰次郎、中込 良、佐藤 雅哉、内野 康志、榎奥 健一郎、中川 勇人、浅岡 良成、小池 和彦

講演会場 (伊藤謝恩ホール) 9:30~10:30

共催シンポジウム 1

レゴラフェニブ登場により何が変わったのか？

【司 会】古瀬 純司 (杏林大学医学部内科学腫瘍内科)

山下 竜也 (金沢大学先進予防医学研究センター)

【共 催】バイエル薬品株式会社

SY1-1 進行肝細胞癌におけるレゴラフェニブのエビデンスおよび本邦の実臨床における初期経験

¹ 千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、² 千葉大学医学部附属病院 臨床試験部

○小笠原 定久^{1,2}、大岡 美彦¹、加藤 直也¹

SY1-2 multi TKI 時代の TACE 不応判断と分子標的薬への切り替え時期

近畿大学医学部消化器内科

○上嶋 一臣

SY1-3 進行肝細胞癌に対するレゴラフェニブの適正使用の現状と今後の課題

国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科

○池田 公史

講演会場 (伊藤謝恩ホール) 10:40~11:40

共催セミナー

【司 会】溝上 雅史 (国立国際医療研究センター)

【共 催】ギリアド・サイエンシズ株式会社

共催セミナー 慢性肝炎・肝硬変・肝癌のアンメット・メディカルニーズに挑む

千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学

○加藤 直也

講演会場（伊藤謝恩ホール） 11：50～12：50

ランチョンセミナー

【司 会】 鳥村 拓司（久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門）
【共 催】 アッヴィ合同会社

LS C型肝炎ウイルス関連肝細胞がん症例に対するDAA治療の問題点と課題
松山赤十字病院 肝胆膵センター
○上甲 康二

講演会場（伊藤謝恩ホール） 13：00～14：00

特別講演

【司 会】 小池 和彦（東京大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

特別講演 日本における Precision Oncology
国立がん研究センター研究所
○間野 博行

講演会場（伊藤謝恩ホール） 14：00～15：15

共催シンポジウム2

レンバチニブがもたらす新たな治療アプローチ

【司 会】 沖田 極（周南記念病院）
泉 並木（武蔵野赤十字病院）
【共 催】 エーザイ株式会社

SY2-1 治験データ及び個別症例から期待されるレンビマを中心とした今後の治療戦略
¹横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター、²秦野赤十字病院 消化器内科、
³横浜市立大学附属病院 消化器内科
○沼田 和司¹、守屋 聡¹、中馬 誠¹、福田 浩之¹、原 浩二¹、田中 克明²、前田 慎³

SY2-2 基礎と臨床から見る肝細胞癌に対する分子標的治療薬不応後の治療戦略
¹久留米大学 内科学講座消化器内科部門、²医療法人 岩本内科医院、³ヨコクラ病院
○岩本 英希^{1,2}、中野 聖士¹、新関 敬¹、下瀬 茂男¹、城野 智毅¹、田中 正俊³、古賀 浩徳¹、
鳥村 拓司¹

SY2-3 進行肝細胞癌に対するレンバチニブの初期使用経験—投与2週間後の臨床的变化に着目して—
名古屋大学消化器内科
○葛谷 貞二、石上 雅敏、廣岡 芳樹

SY2-4 分子標的薬新時代のTACE不応判断における肝予備能評価の重要性
¹愛媛県立中央病院 消化器病センター 内科、²愛媛大学大学院 消化器・代謝・内分泌内科学
○平岡 淳¹、広岡 昌史²、日浅 陽一²、道堯 浩二郎¹

講演会場（伊藤謝恩ホール） 15：15～15：30

沖田賞表彰

講演会場（伊藤謝恩ホール） 16：35～17：35

プレナリーセッション2

【司 会】竹原 徹郎（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）
田中 真二（東京医科歯科大学医学部 分子腫瘍医学）

- PL-07 レゴラフェニブ治療におけるバイオマーカーの検討
武蔵野赤十字病院
○土谷 薫、安井 豊、王 婉、大澤 玲於奈、渡壁 慶也、岡田 真央、清水 孝夫、樋口 麻友、高浦 健太、金子 俊、玉城 信治、中西 裕之、板倉 潤、高橋 有香、黒崎 雅之、泉 並木
- PL-08 手足症候群に対するヒスチジンの効果
新潟大学 大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
○上村 顕也、品川 陽子、後藤 諒、横尾 健、坂牧 僚、上村 博輝、阿部 聡司、寺井 崇二
- PL-09 REFLECT 試験結果を用いた、日本の切除不能肝細胞癌におけるレンバチニブのソラフェニブに対する費用効果分析
¹ 虎の門病院 肝臓内科、² 近畿大学医学部附属病院 消化器内科、³ 武蔵野赤十字病院、⁴ 金沢大学附属病院 消化器内科、⁵ エーザイ株式会社、⁶ Eisai Inc., Woodcliff Lake, NJ, USA、⁷ 国際医療福祉大学 医学部公衆衛生学
○小林 正宏¹、工藤 正俊²、泉 並木³、金子 周一⁴、東 美恵⁵、Ronda Copher⁶、Genevieve Meier⁶、石井 美佳⁵、池田 俊也⁷
- PL-10 エピジェネティックなソラフェニブ抵抗性獲得機序の解明とヒストンメチル化酵素 EZH1/2 阻害剤併用の意義
¹ 千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、² 神戸大学大学院 病理ネットワーク学、³ 千葉大学大学院医学研究院 細胞分子医学
○日下部 裕子¹、千葉 哲博¹、金山 健剛¹、前田 隆宏¹、神崎 洋彰¹、中村 昌人¹、室山 良介¹、斎藤 朋子¹、中川 良¹、小笠原 定久¹、鈴木 英一郎¹、大岡 美彦¹、中本 晋吾¹、安井 伸¹、三方 林太郎¹、太和田 暁之¹、丸山 紀史¹、全 陽²、岩間 厚志³、加藤 直也¹
- PL-11 肝細胞癌の治療経過中における c-Met 発現変化に関する検討
¹ 帝京大学内科、² 東京大学消化器内科、³ 協和発酵キリン株式会社、⁴ 順天堂大学消化器画像診断・治療学
○浅岡 良成^{1,2}、建石 良介²、木下 隼³、大内 喜海³、小池 正道³、椎名 秀一朗⁴、小池 和彦²
- PL-12 PD-L1 陽性肝癌の特徴と腫瘍免疫環境に関する解析
近畿大学 医学部 消化器内科
○西田 直生志、工藤 正俊

講演会場（伊藤謝恩ホール） 17：35～17：40

閉会の辞

【代表世話人】工藤 正俊（近畿大学医学部 消化器内科学）

【次回当番世話人】松崎 靖司（東京医科大学茨城医療センター 消化器内科）

ポスター会場（多目的スペース） 15：40～16：30

ポスターセッション 1

レゴラフェニブの使用経験 1

【司 会】今井 康陽（市立池田病院）

能祖 一裕（岡山市立市民病院 消化器内科）

- P-01 実臨床での進行肝細胞癌治療におけるソラフェニブ、レゴラフェニブ sequential 療法
富山大学附属病院 消化器内科学
○田尻 和人、二日市 有花、長田 功平、小林 才人、安村 敏、高原 照美、峯村 正実、
安田 一朗
- P-02 Regorafenib の初期使用経験と造影超音波検査による治療効果判定
¹兵庫医科大学 超音波センター、²兵庫医科大学 内科・肝胆膵科
○西村 貴士^{1,2}、柴田 陽子¹、青木 智子¹、中野 智景^{1,2}、石井 紀子²、由利 幸久²、
長谷川 国大²、高田 亮²、楊 和典²、高嶋 智之²、坂井 良行²、會澤 信弘²、池田 直人²、
西川 浩樹²、岩田 恵典²、榎本 平之²、西口 修平²、飯島 尋子^{1,2}
- P-03 集学的治療奏功例を含む進行肝癌に対する Regorafenib の初期治療成績
徳島大学大学院医歯薬学研究所 消化器内科学
○友成 哲、宮本 佳彦、田中 宏典、田中 貴大、高山 哲治
- P-04 同一進行肝細胞癌症例に対するレゴラフェニブとソラフェニブの抗腫瘍効果と有害事象の
比較
金沢大学附属病院 消化器内科 1
○木戸 秀典、寺島 健志、山下 竜也、荒井 邦明、山下 太郎、水腰 英四郎、金子 周一
- P-05 AFP 早期反応を参考にした regorafenib の減量方法が有効と思われた進行肝細胞癌の 1
例
国立病院機構九州医療センター 肝胆膵外科・臨床研究センター
○和田 幸之、高見 裕子、立石 昌樹、原 貴信、龍 知記、吉富 宗宏、才津 秀樹

ポスター会場（多目的スペース） 15：40～16：30

ポスターセッション 2

レゴラフェニブの使用経験 2

【司 会】飯島 尋子（兵庫医科大学 内科学肝胆膵科・超音波センター）

中尾 一彦（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器内科学分野）

- P-06 当院でのレゴラフェニブ使用症例の経過と効果症例の特徴
¹岡山大学病院 消化器内科、²岡山市立市民病院 内科
○足立 卓哉¹、能祖 一裕²、大山 淳史¹、和田 望¹、安中 哲也¹、大西 秀樹¹、池田 房雄¹、
白羽 英則¹、高木 章乃夫¹、岡田 裕之¹

- P-07 進行肝細胞癌に対する second line 全身化学療法—当科における regorafenib 初期使用経験—
岩手医科大学 内科学講座 消化器内科肝臓分野
○及川 隆喜、岡本 卓也、米澤 美希、佐々木 登希夫、佐藤 琢郎、藤原 裕大、岡田 洋平、阿部 珠美、佐藤 寛毅、遠藤 啓、吉田 雄一、佐原 圭、黒田 英克、滝川 康裕
- P-08 進行肝細胞癌におけるレゴラフェニブで 6 ヶ月以上腫瘍制御が得られた 9 症例
¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、² 日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野
○泉水 美有紀¹、小笠原 定久¹、大岡 美彦¹、丸田 亨¹、前田 隆宏¹、金山 健剛¹、神崎 洋彰¹、小林 和史¹、清野 宗一郎¹、中村 昌人¹、齊藤 朋子¹、鈴木 英一郎¹、中本 晋吾¹、安井 伸¹、太和田 暁之¹、千葉 哲博¹、新井 誠人¹、神田 達郎^{1,2}、丸山 紀史¹、加藤 直也¹
- P-09 当院における肝細胞癌に対する分子標的治療薬の現状
岡山市立市民病院 消化器内科・肝疾患センター
○古林 佳恵、狩山 和也、井上 佳苗、永井 裕大、森分 梨奈、塩田 祥平、大西 理乃、湧田 暁子、能祖 一裕
- P-10 当院における進行肝細胞癌に対するレゴラフェニブの初期使用経験
大阪赤十字病院 消化器内科
○坂本 梓、網野 遥、中西 梨沙、米門 秀行、喜多 竜一、木村 達、丸澤 宏之
- P-11 ソラフェニブ治療後の進行肝癌におけるレゴラフェニブの位置づけ—PD 時期に着目して—
¹ 山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学、² 山口大学大学院医学系研究科 臨床検査腫瘍学
○佐伯 一成¹、山崎 隆弘²、前田 雅喜¹、坂井田 功¹

ポスター会場（多目的スペース） 15：40～16：30

ポスターセッション 3

新規分子標的薬

【司 会】日野 啓輔（川崎医科大学 肝胆臓内科学）
河田 則文（大阪市立大学院医学研究科 肝胆臓病態内科学）

- P-12 進行肝細胞癌に対するレンバチニブの初期使用経験
北海道大学病院 消化器内科
○荘 拓也、須田 剛生、鈴木 和治、中村 晃久、大原 正嗣、川岸 直樹、梅村 真知子、中井 正人、森川 賢一、小川 浩司、坂本 直哉
- P-13 進行肝細胞癌に対するレンバチニブ治療の初期使用経験
久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門
○中野 聖士、黒松 亮子、佐谷 学、新関 敬、岡村 修祐、岡村 英希、下瀬 茂男、城野 智毅、野田 悠、蒲池 直紀、古賀 浩徳、鳥村 拓司
- P-14 市中病院における進行肝癌に対する Lenvatinib の初期使用経験
市立函館病院 消化器病センター 消化器内科
○山本 義也、吉田 苑永、宮本 秀一、木下 賢治、伊藤 淳、工藤 大樹、畑中 一映、成瀬 宏仁

- P-15 ソラフェニブ副作用・PD 症例に対する切除不能肝癌に対してレンバチニブの使用経験
¹愛媛県立中央病院 消化器病センター 内科、²愛媛大学大学院 消化器・代謝・内分泌内科学
 ○相引 利彦¹、平岡 淳¹、泉本 裕文¹、植木 秀太郎¹、吉野 武晃¹、奥平 知成¹、山子 泰加¹、
 岩崎 竜一郎¹、須賀 義文¹、森 健一郎¹、宮田 英樹¹、岸田 正人¹、壺内 栄治¹、
 二宮 朋之¹、広岡 昌史²、日浅 陽一²、道堯 浩二郎¹
- P-16 切除不能進行肝細胞癌（HCC）に対する Sorafenib 不応後の集学的治療に関する検討
¹鹿児島市立病院 消化器内科、²鹿児島大学病院 消化器内科
 ○玉井 努¹、馬渡 誠一²、笠井 亜衣²、谷山 央樹¹、伊集院 翔²、梶 一晃²、小田 耕平²、
 熊谷 公太郎²、森内 昭博²、坪内 博仁¹、井戸 章雄²

ポスター会場（多目的スペース） 15：40～16：30

ポスターセッション4
 肝癌分子標的治療の基礎的検討

【司 会】大崎 往夫（明和病院）

奥坂 拓志（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科）

- P-17 Sulforaphane による肝癌発育抑制の基礎的検討
 奈良県立医科大学 内科学第三講座
 ○佐藤 慎哉、守屋 圭、古川 政統、北川 洸、才川 宗一郎、下里 直隆、高谷 広章、
 鍛冶 孝祐、瓦谷 英人、北出 光輝、浪崎 正、吉治 仁志
- P-18 Nrf2 に着目した肝癌細胞における腫瘍関連マクロファージ活性化の検討
 徳島大学 消化器・移植外科
 ○良元 俊昭、島田 光生、岩橋 衆一、森根 裕二、居村 暁、池本 哲也、齋藤 裕、
 山田 眞一郎
- P-19 糖代謝阻害薬 2-deoxy-D-glucose 封入 PLGA ナノ粒子を用いた肝細胞癌治療開発
¹川崎医科大学 肝胆膵内科学、²先端医療開発
 ○仁科 惣治¹、佐々木 恭¹、原 裕一¹、池元 秀樹²、福田 宏太郎²、日野 啓輔¹
- P-20 胆管細胞癌におけるガレクチン-9 による増殖抑制効果の検討
 香川大学 医学部 消化器・神経内科
 ○小林 聖幸、藤田 浩二、田所 智子、森下 朝洋、山名 浩喜、加藤 清仁、鎌田 英紀、
 正木 勉
- P-21 免疫チェックポイント分子ガレクチン-9 は、肝線維化と肝細胞癌を抑制する
 香川大学医学部 消化器神経内科学
 ○藤田 浩二、森下 朝洋、正木 勉
- P-22 進行肝細胞癌治療におけるソラフェニブ血中濃度測定の意味
¹東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、²東邦大学薬学部 病態生化学
 ○向津 隆規¹、永井 英成¹、松井 太吾¹、小林 康次郎¹、荻野 悠¹、松井 哲平¹、
 和久井 紀貴¹、大道 泰子¹、篠原 美絵¹、靱山 浩一¹、五十嵐 良典¹、桧貝 孝慈²

ポスター会場（多目的スペース） 15：40～16：30

ポスターセッション5

症例報告1

【司 会】森山 光彦（日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野）
森本 学（神奈川県立がんセンター 消化器内科）

- P-23 ソラフェニブ不耐容例に対するレンバチニブの初期使用経験
順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科
○佐藤 俊輔、甘楽 裕徳、玄田 拓哉
- P-24 進行肝細胞癌に対するレンバチニブの初期使用経験
広島大学病院 消化器・代謝内科
○河岡 友和、相方 浩、内川 慎介、児玉 健一郎、村上 栄介、中原 隆志、平松 憲、
柘植 雅貴、今村 道雄、茶山 一彰
- P-25 肝細胞癌に対するレンバチニブの初期使用経験～循環器系副作用を中心にして
¹東京医科大学茨城医療センター 内科（消化器）、²東京医科大学茨城医療センター 循環器内科、
³東京医科大学茨城医療センター 外科（消化器）
○屋良 昭一郎¹、池上 正¹、門馬 匡邦¹、村上 昌¹、上田 元¹、小西 直樹¹、玉虫 惇¹、
平山 剛¹、岩本 淳一¹、東谷 迪昭²、鈴木 修司³、松崎 靖司¹
- P-26 進行肝細胞癌に対するレンバチニブにて治療開始早期に急速に腫瘍濃染像が低下した2例
¹千葉大学大学院 医学研究院 消化器内科学、²日本大学医学部 内科学系 消化器肝臓内科学分野
○嶋 由紀子^{1,2}、小笠原 定久¹、大岡 美彦¹、丸田 享¹、前田 隆宏¹、金山 健剛¹、神崎 洋彰¹、
小林 和史¹、清野 宗一郎¹、中村 昌人¹、齊藤 朋子¹、鈴木 英一郎¹、中本 晋吾¹、
安井 伸¹、太和田 暁之¹、千葉 哲博¹、新井 誠人¹、神田 達郎^{1,2}、丸山 紀史¹、加藤 直也¹
- P-27 レンバチニブ使用後に腫瘍内出血をきたした巨大肝細胞癌の一例
姫路赤十字病院 肝臓内科
○山本 岳玄、中村 進一郎、森井 和彦、奥新 浩晃
- P-28 3次治療としてのレンバチニブの使用経験
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター
○守屋 聡、中馬 誠、沼田 和司、福田 浩之、前田 慎

ポスター会場（多目的スペース） 15：40～16：30

ポスターセッション6

症例報告2

【司 会】海堀 昌樹（関西医科大学 外科）
玄田 拓哉（順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科）

- P-29 ワーファリン内服中の進行肝細胞癌患者に対するレンバチニブ導入後にPT-INRの過延長を認めた一例
¹大阪大学医学部附属病院 消化器内科、²大阪大学医学部医学系研究科 消化器内科学
○佐々木 陽一¹、阪森 亮太郎²、山田 涼子²、重川 稔²、吉岡 鉄平²、辻井 芳樹²、
小玉 尚宏²、疋田 隼人²、新崎 信一郎²、巽 智秀²、飯島 秀樹²、竹原 徹郎²

- P-30 大腸癌、転移性肝腫瘍、転移性肺腫瘍に対してレゴラフェニブを投与し急性肝不全を認めた1例
¹長崎大学病院 消化器内科、²長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍・診断病理学研究分野、
³久留米大学病院 病理診断科・病理部
○日野 直之¹、岩津 伸一¹、中舗 卓¹、成田 翔平¹、原口 雅史¹、佐々木 龍¹、本田 琢也¹、
柴田 英貴¹、三馬 聡¹、小澤 栄介¹、宮明 寿光¹、三浦 史郎²、秋葉 純³、中尾 一彦¹
- P-31 進行肝細胞癌に対してソラフェニブが一旦中止となるも、その後再開しレゴラフェニブを導入し奏功した1症例
¹山口大学大学院医学系研究科 消化器内科、²山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学
○前田 雅喜¹、佐伯 一成¹、高見 太郎¹、山崎 隆弘^{1,2}、坂井田 功¹
- P-32 ソラフェニブ・レゴラフェニブによるシークエンシャル療法にて長期間加療中に脳転移を認めた肝細胞癌肺転移の一例
¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、²日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野
○大浦 弘嵩¹、小笠原 定久¹、大岡 美彦¹、丸田 享¹、前田 隆宏¹、金山 健剛¹、神崎 洋彰¹、
小林 和史¹、清野 宗一郎¹、中村 昌人¹、齊藤 朋子¹、鈴木 英一郎¹、中本 晋吾¹、
安井 伸¹、太和田 暁之¹、千葉 哲博¹、新井 誠人¹、神田 達郎^{1,2}、丸山 紀史¹、加藤 直也¹
- P-33 手足症候群のためソラフェニブ 200mg 隔日まで減量したが著効したリンパ節転移を伴う進行肝細胞癌の1例
東京大学医学部附属病院 消化器内科
○内野 康志、浅岡 良成、建石 良介、小池 和彦
- P-34 TACE とソラフェニブにて縮小後に肝切除を行った肝静脈浸潤肝細胞癌の1例
山形大学医学部内科学第二講座
○仁科 武人、奥本 和夫、富田 恭子、水野 恵、芳賀 弘明、上野 義之